

# 令和2年度 放課後等デイサービス自己評価表

【放課後等デイサービス事業所「たいよう」】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・運動スペース、学習スペースなどを区別し、十分なスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		・利用人数や送迎時間などによって多少の差は出るが、個別活動や集団活動を組み合わせて工夫を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・施設内の床に段差はなく、トイレも十分な広さを確保できて手すりもついている。 ・玄関の階段はあるが、不安な児童は介助する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・日々のミーティングや定例会議などで都度確認を行い実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・アンケート調査結果をふまえて業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・HPIに記載されている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・外部評価は未実施
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・定期的な研修は実施しているが、専門的な研修の機会を増やしていく必要がある。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・日々の状態は毎日のミーティングで評価を行い、必要な情報については、都度家族と連携している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・使用できているが、必要に応じて変更や追加の必要性も検討。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・スタッフ間で次月の活動予定を1か月分毎に話し合い決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・重複しないように心掛けている。 ・臨機応変に児童に対応するため、プログラムの予備案を作成している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・学校終了後と休日での活動内容の変更や工夫を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		・活動の組み合わせや工夫は行えているが、計画内容が不十分のため見直しを行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・役割を分担を細分化し支援を行う事が課題
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・早急な周知が必要な場合のみ支援後のミーティングを行っているが、基本は翌日の朝に実施している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・ミーティング時に検証を行い、記録に残している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		・学校、保護者、事業所が一体となり評価を行う事を課題としている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			・行えている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児発管または保育士が担当している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・適宜学校との連絡調整をおこなっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				・対象者なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		ご家族や相談支援事業所からの情報が主となり、直接の情報共有は行っていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				対象者なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・必要に応じて情報共有や助言を受けているが、研修などには参加していない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・学習塾と併設しているため今後はイベントなどでの交流機会の場を増やす計画である。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	・会議や研修の機会があれば参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・児童の状況を伝えると共に、保護者からの要望も課題に組み入れている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・放デイでの児童対応などの情報を共有し、家庭でも試してもらう事がある。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・随時対応を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・昨年は実施できているが、今年度は実施していない

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			子どもや保護者からの相談や申し入れに対し、迅速かつ適切な対応を心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月事業所新聞を発行している
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・併設している学習塾との交流を企画している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・必要時紙面で周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年1回以上実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・研修を受け、学校とも連携を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・指針やマニュアルは策定しているが、該当者はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・おやつなどは代替えを準備している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例検討は実施しているが、事例集の作成は行っていない。

# 令和2年度 放課後等デイサービス自己評価表

## 【放課後等デイサービス事業所「キラ」】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・部屋のスペースを工夫して使用。・人数が多い日は少々手狭に感じてしまうこともあるので、課題や遊びで場所を分けて人数を分散している。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		・人員の補充を行い、より充実したサービスを提供していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・階段などもある為少々苦勞する児童もいるが、手を繋ぐ、先頭や最後尾をスタッフが歩くようにしている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・年度末などに行う会議で設定した目標、振り返り内容を意識して課題等取り組むようにしている。・会議、朝礼でその都度周知。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・アンケート以外でも送迎時などにご意見をいただいた際にも、ミーティングをして業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページに公開されている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・実施していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・定期的に行っている。・研修内容を意識して児童と接するように心がけている。・研修を充実させていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・相談支援事業所、学校を交え情報共有している。・定期的なアセスメントをしていただき、その情報を元にイベントや日々の課題の作成を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・自立課題の項目をさらに追加しアセスメントを強化している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・ミーティング時間の確保を明確にする。・小まめな話し合いを心がけている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・できるだけ新しい物やレクを児童に提供できるよう心がけているが、似たようなことをしてしまう時もあるので見直しも必要。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・スタッフ間でミーティングをしっかりと行い、状況に応じて課題を決めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・イベントやレクなどを組み合わせることで個人としての自立課題と集団行動が行えるようスタッフで話し合っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・できるだけ業務を分散し、それぞれが動きやすくなるようにスタッフ同士で話し合う時間を取るようになっている。・他の部署の把握もしっかり周知しておく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・当日中に実施できない場合は翌日に行っている。情報共有するため、できるだけ話し合いの時間を取るようになっている。・連絡ノートを使い支援終了後のやり取りをする。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・支援経過記録などをしっかりと取り、日々の児童の変化をチェックするよう見直している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		・課題などを見直し、職員にしっかり周知してもらう。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			・成功体験を積み、将来の自立に向けた自信をつけてもらう。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児発管または担当保育士が参加をしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・日々の送迎時から学校とのコミュニケーションを取り、児童の情報共有と学校での様子、時間確認を行っている。・限られた学校としか密に連携を取っていないので、今後は増やしていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		・相談支援事業所を通しての情報共有が多くなってきている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/	該当なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・直接的な助言や研修を受けられてはいない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・今後積極的なアポを取っていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	・コロナウイルスの影響で開かれていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡帳や送迎時に状況をしっかり伝え、保護者からの心配事などスタッフ間で共有している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・送迎時にコミュニケーションを多く取って、話しやすい環境を作っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・見学や契約時に1つでも疑問点が少なくなるようにわかりやすく説明を行う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・過去の事例や持っている知識を使ってお話を納得するまで行い、他の職員とも情報を共有してサポートを続ける。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・コロナウイルスの影響でできなかったが、リモートなどの形で行えたかもしれない。・次年度は何かしらの形で行っていく。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・すぐに保護者に説明を行い、職員にアドバイス、指導を行う。 ・些細な事でもすぐに情報共有を行い、対策や話し合いを行うよう心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・社内新聞や、予定表などでギリギリの周知にならないように配布をしている。 ・月に1回の新聞を発行して写真や情報を載せて保護者の方に発信をしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・棚に保管し、誰かが勝手に触れられないようにしている。 ・職員同士の会話にも注意を払う。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・言い回しや表情、伝え方を考えながら日々話すように心掛けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナウイルスの影響で行うには難しかった。 ・次年度は感染対策を考え行いたい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・変更があった時などには書面での通知も行うようにしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・児童を交えて訓練を行なっている。
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・スタッフで研修を受け情報共有、ディスカッションを行っている。 ・より機会を増やしていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	・他児やその子を守るためにも周知をしてもらっているがまだ不十分なところが多い。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・アレルギー情報をあらかじめ共有して、口にしないように徹底している。 伝達、一覧を作る。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・会議、朝礼、回覧等で周知をしている。